

5 スペア送信機について

●送信機を紛失または破損（修理不可能）した場合に、スペア送信機（有償）を作ることができます。保証書または受信機のシリアルナンバーを確認の上、販売店または取り扱い店を通して注文してください。

●スペア送信機のID書込み、および作動確認手順

操 作	送信音	受信機のプロザー音	備 考
車両のIG電源→「ON」			受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピロコッ	ピロッ	受付時間10秒以内
「STOP」	ピピッ	ピピー	書込完了
車両のIG電源→「OFF」			
「START」	ピコッ	(エンジン始動)	

- 書込完了しても「START」操作でエンジンが始動しない場合は、登録ができていません。最初からやり直してください。
- スペア送信機のID書込みが完了すると、今までの送信機は使えなくなります。また送信機を2個以上注文されても、1台の車両に対して、使用できるのは1台の送信機のみです。
- 受信機を取り外した場合、32ページの「受信機を取り付け」と「取り付け後の配線処理」に従って取り付けを行ってください。

6 アフターサービス

保証期間中は、保証規定に基づいて修理いたします。保証書は、故障の修理時または、スペア送信機の作成時等に必要となります。必要事項が記入されていることをご確認の上、車検証等と一緒に大切に保管してください。また、保証期間後の修理についても、販売店または取付店にご相談ください。

アフターサービスのお問い合わせ

総発売元 株式会社シーディートレーディング
〒399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1
TEL 0263-81-1189 FAX 0263-84-0089
Web <http://es89.com/>

e-mail : info@cdt.jp

取り扱い販売店

製造元 株式会社 サーキットデザイン

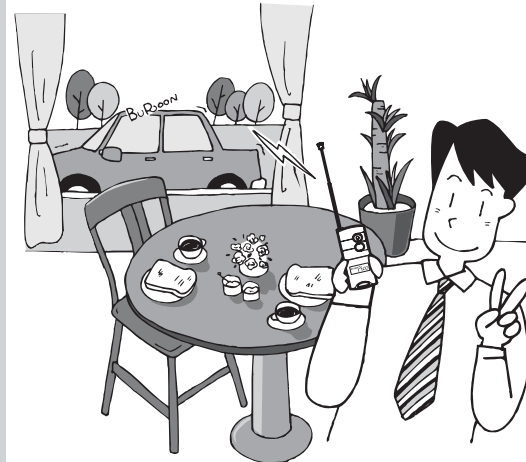
取扱・取付説明書 テレコントロールエンジンスターター

ES-89 Pico

はじめに

このたびは、テレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車のエンジンコンディションを整えるためのウォーミングアップ、寒冷地での暖機運転、酷暑時での車内の冷房等をするために、遠隔操作によってエンジンのスタート/ストップ等を行う機器です。

ご使用前に、この取扱・取付説明書をよくお読みの上、注意を守って正しくお使いください。



警告

プッシュスタート専用

- 本製品は、トヨタ車等のプッシュボタンスタートシステム付き車専用です。それ以外の車種には取り付けできません。
- お客様ご自身での取り付けは危険ですので、取り付けはお買い求め店にご相談ください。
- 本製品を分解・改造しないでください。また、本来の目的以外のご使用は危険ですのでおやめください。

注意事項の見方.....2

使用上のご注意.....2~6

1. エンジンスターターの使い方.....7

1. このように構成されています

各部のなまえ/電池の交換/電池交換のしかた

1

2. 動かしてみましょう

エンジンを始動する/エンジン始動の確認をする/エンジンを止める

2

3. 便利な機能

アイドリング時間の変更/オートライトキャンセル/受信アンテナのモニターLED

3

4. 機能の設定

① オートマチック車の認識設定/② パーキングブレーキの検出設定/③ アイドリング時間の設定/④ 受信アンテナモニターLEDの設定

4

5. こんなときは (Q & A)

5

2. エンジンスターターの取り付け方.....21

取り付け上のご注意.....22

1. 梱包内容

梱包内容/梱包内容の他に必要なもの

1

2. 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具/エレクトロタップでの分岐接続方法/接続の概念図(システム図)/接続先の信号一覧

2

3. 取り付け作業

取り付けの前に/① 受信アンテナの取り付け/② 専用ハーネスの取り付け/③ CN2 配線の接続/④ 受信機の接続/⑤ オートマチック車の認識設定/⑥ スマートキーの認識設定/⑦ 動作チェック/⑧ 受信機取り付け/⑨ 取り付け後の配線処理/⑩ 機能の設定/⑪ 設定のリセット/⑫ 受信機のプロザーアンサーバック表

3

4. 主な仕様

4

5. スペア送信機について

5

6. アフターサービス

6

CIRCUIT DESIGN, INC.

注意事項の見方

この「取扱・取付説明書」に書かれている注意事項は、製品を安全に正しく最良の状態でお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項の意味



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味



禁止事項を示しています。



しなければならないことを示しています。

使用上のご注意



警告

本製品を安全に、最良の状態でご使用いただくために、必ずお読みください。

この取扱・取付説明書に関する注意事項



警告

- ご使用になる前に、本冊子を良くお読みになって正しくお使いください。
- お読みになった後は、この「取扱・取付説明書」「保証書」を製品の近くに（車検証等といっしょにして）保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようになっています。
- 本製品を別の車に取り付け直す場合は、「取扱・取付説明書」「保証書」を製品の近くに保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようになっています。また「警告ラベル」が無い場合は販売店より入手してください。
- 本製品を譲渡される場合は、「取扱・取付説明書」と「保証書」をいっしょにお譲りください。また「警告ラベル」を販売店より入手していっしょにお譲りください。

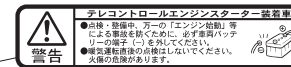
ご利用にあたっての注意事項

- 本製品は、トヨタ車等のプッシュボタンスタートシステム付き車専用です。それ以外の車種には取り付けできません。（当社の車種別ハーネス適応表に記載されている車種のみ取り付けができます）
- 取り付けは、概念的な説明で確実に取り付けのできる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けられた場合は、PL保険の対象になりません。



警告

- 本製品を分解・改造はしないでください。分解・改造をされた場合の保証はいたしません。また本来の目的以外のご使用は危険ですのでおやめください。
- 「警告ラベル」がエンジンルーム内に貼られていることを確認してください。もし、貼られていない場合は販売店または取付店に貼るようお願いしてください。警告ラベルが無い状態で車両の点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。



「警告ラベル」



注意

- 取り付けには、必ず本製品に同梱されている専用ハーネスを使用してください。他社のハーネスでの取り付けはできません。もし取り付けの場合は、本製品の保証およびPL保険の対象となりません。
- 本製品は、他社のターボタイマー、またはセキュリティシステム（車両メーカー純正を含む）等との併用ができない場合があります。
- 車両側の純正スマートキー（スマートエントリーシステムによるドアロック/アンロックも含む）は、エンジンスターターによるアイドリング中には、ほとんどの車種は作動しません。この車種で車両側の純正スマートキーを使用する場合は、エンジンスターターの「STOP」操作でエンジンを停止させてから操作をしてください。
- 取り付ける車種により、使用できない機能があります。販売店、取付店にお問い合わせください。

使用時の注意事項



警告



屋内でエンジンを始動しない

- 車庫などの換気の悪い屋内では、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより、中毒や窒息のおそれがあります。



ボディーカバーを掛けたままエンジンを始動しない

- 車両にボディーカバーを掛けたままでは、絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息のおそれがあります。また、高熱の排気ガスによる火災の危険があります。



車内に人やペットを乗せたままエンジンを始動しない

- 人（特にお子様）やペットが車内にいるときは、絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの動いている車両を操作したり、ペットの思わぬ動きが重大事故につながるおそれがあります。



● 輪止め等の安全処置をする

- 「パーキングブレーキを検出しない設定」の場合、駐車するときは車輪に輪止め等の安全処置をしてください。エンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながるおそれがあります。



！ 安全な整備を行うために

- 車両の点検整備を行う際は、車両のバッテリー端子の(-)を外して行ってください。万が一、エンジンが始動した場合は重大事故につながるおそれがあります。
- 点検整備を依頼する場合は、エンジンスターター装着車であることをお伝えください。
- 安心して点検整備をするために、ボンネットセンサー（オプション）を装着することをお勧めします。



⊘ 「N」レンジでは使用しない

- エンジンスターターは「P」レンジで使用してください。「N」レンジで使用すると、エンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながるおそれがあります。



！ 周囲の安全を確認する

- 車両の周囲の安全を十分確認できる場所（人やペットが近くにいない）でご使用ください。
- 傾斜地に駐車したときは、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 車両の整備・点検時には、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 公道ではエンジンスターターによるエンジン始動、およびエンジン始動の確認（ホーンによる）を行わないでください。



注意



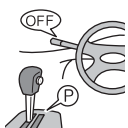
⊘ 暖気運転直後は運行前点検をしない

- 車の暖気運転を行った直後に運行前点検を行うと、火傷のおそれがあります。エンジン停止後、5分以上経過してから火傷のおそれのないことを確認した上で運行前点検を行ってください。



⊘ 迷惑なアイドリングはしない

- 環境保護のため、周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。



！ 車両駐車時の注意事項

- オートライトスイッチ、ワイパースイッチ、オートアンテナ付きラジオ等はスイッチを「OFF」にしてください。
- パーキングブレーキをかけてください。
- シフトレバーを「P」にしてください。
- 全ての窓を閉め、全てのドアを施錠（ロック状態）してください。



！ 極寒ではエンジンがかかりにくいこともあるので整備をする

- 寒冷地ではエンジンがかかりにくいこともあります。車両のプッシュボタンによる始動操作のみで、エンジンが始動するように車両を整備してください。



！ 充電警告灯の点灯時はまず点検・整備を

- 車両のプッシュボタンでエンジンを始動した後、車両の充電警告灯（CHGランプ）が消えない場合は、エンジンスターターを使用せずに車両の点検整備をしてください。

送信機に関する注意事項



警告



！ 送信機は安全な場所に保管する

- 送信機は小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んだり、アンテナ等で目を突いてけがをしたり、誤って操作をして重大な事故につながるおそれがあります。
- 送信機のリチウム電池は充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れる等はいけません。発火、発熱、破裂の原因となります。また、電池を破棄する場合および保存する場合にはテープ等で絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。幼児等が万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師とご相談下さい。



注意



⊘ 高温、多湿な場所に置かない

- 送信機は直射日光下の高温になる場所、湿気の多い場所、極端な温度になる場所（70℃以上、または-20℃以下）には置かないでください。送信機を傷めたり、その直後にご使用になると正常に作動しない場合があります。



⊘ 落としたり、ぶつけない

- 送信機を落としたり、固いものにぶついたり、アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因となります。



⊘ 水に浸けない

- 送信機は日常生活防水対応になっていますが、水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になるおそれがあります。



！ 中性洗剤で汚れをふき取る

- 汚れを落とすには、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭いてから、乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。汚れが落ちなくなったり、傷を付けるおそれがあります。

道路交通法に関する注意



警告



⊘ 公道でのエンジンスターターの使用禁止

- 公道で車両のエンジンをかけたままで放置することは禁止されています。違反すると道路交通法違反になります。エンジンスターターは私有地のみでご使用ください。

電波法に関する注意事項



警告



分解、改造または海外での使用禁止

- 本製品の送信機は、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明（利用に関して、お客様の免許申請等の手続きは不要）を受けています。必ず次のことを守ってお使いください。
- 分解・改造をしないでください。送信機は電池交換のためにバッテリーカバーを取ることできますが、それ以上の分解・改造は法律で禁止されています。
- 技術基準適合ラベル（送信機の裏側に貼ってあるラベル）ははがさないようにしてください。ラベルのないものは使用が禁止されています。
- この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。
This product is for the use only in JAPAN.
- また、この製品は混信防止機能として識別符号自動送受信機能を搭載しており、他のシステムに不具合を与えません。

その他の注意事項



注意



オプション部品（別売）に関する注意事項

- 別売のオプション部品の使用方法、取り付け方法については、オプション部品に付属（同梱）の取付・取扱説明書をお読みください。

1 エンジンスターターの使い方

1. このように構成されています

各部のなまえ	8	1
電池の交換	9	
電池交換のしかた	9	

2. 動かしてみましょ

エンジンを始動する	10	2
エンジン始動の確認をする	10	
エンジンを止める	10	
知っておきたいこと（オートマチック車の認識設定／エンジン始動の4つの条件／エンストリトライ／STOP操作以外のエンジンの停止／純正スマートキー、およびスマートエントリーシステムについて）	11	3

3. 便利な機能

アイドリング時間の変更	12	
オートライトキャンセル	12	
受信アンテナのモニターLED	12	4

4. 機能の設定

① オートマチック車の認識設定	13	
② パーキングブレーキの検出設定	14	
③ アイドリング時間の設定	15	
④ 受信アンテナモニターLEDの設定	17	

5. こんなときは（Q & A）

1

2

3

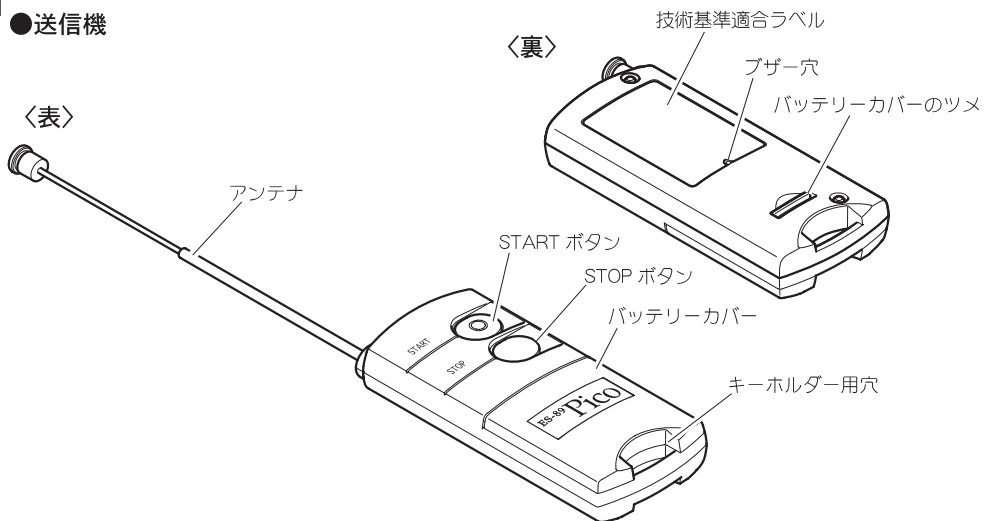
4

5

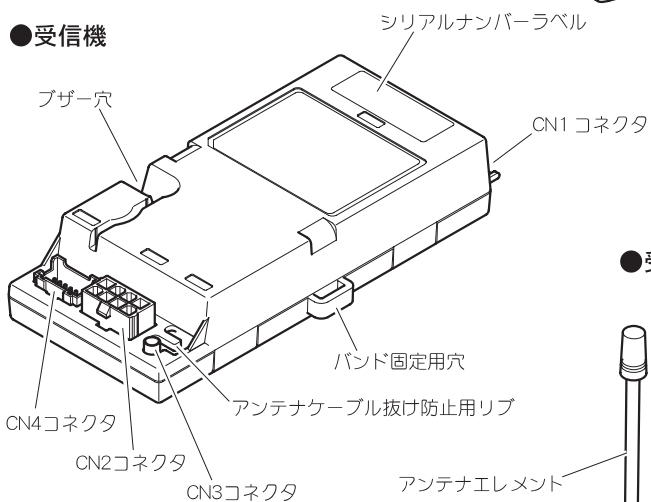
1 このように構成されています

各部のなまえ

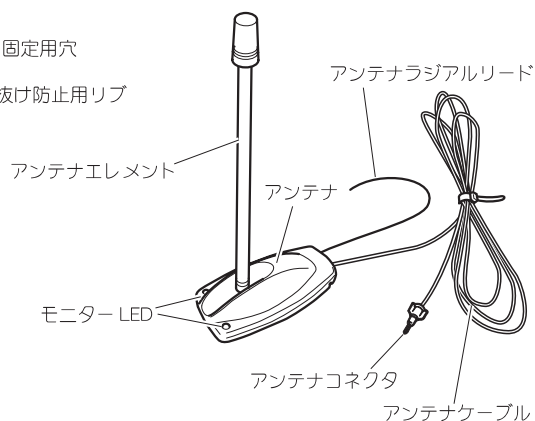
●送信機



●受信機



●受信アンテナ



電池の交換

電池の交換時期について

送信操作をして、それぞれの送信音（ブザー）の後に、電池消耗をお知らせした（ブザーが「ブップブップ」と鳴る）場合は、電池が消耗してきているので、早めに新しい電池と交換してください。（※1）

電池寿命の目安

約1年間（1シーズン）の使用を目安に、定期的な電池交換をおすすめします。（※2）

使用電池（CR2032 × 1個）

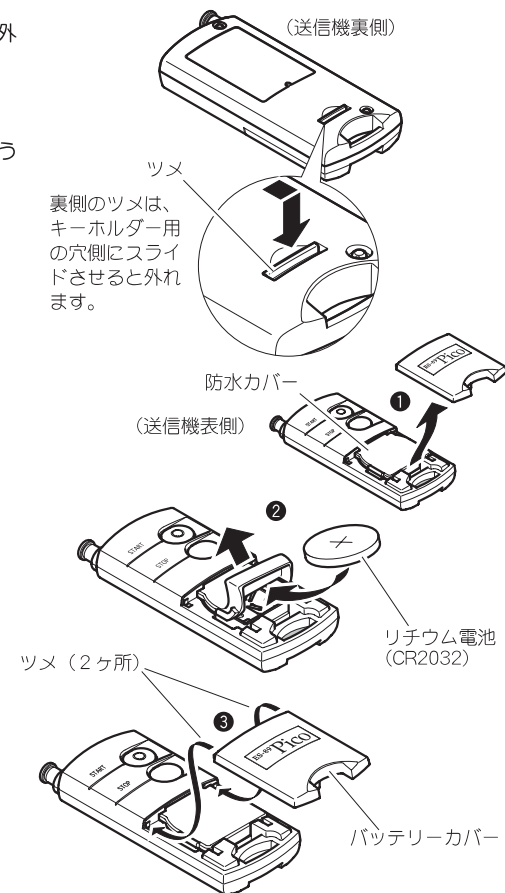
交換するときは、必ず新しい電池に交換してください。

※1 電池は消耗してくると、特に低温時に性能が低下してきます。このため極低温の環境で送信機を使用した場合、電池消耗をお知らせせずに作動しなくなることがあります。

※2 電池寿命は、使用する環境、条件によって異なります。なお、工場出荷時に送信機に装着されている電池はモニター用のため、記載より短い期間で消耗する場合がありますのでご了承ください。

電池交換のしかた

- 1 裏側のツメを外して、バッテリーカバーを外す
- 2 防水カバーをめくって、+側が上になるように電池を交換する
- 3 防水カバーを元に戻し、バッテリーカバーを裏側のツメが確実にロックする（パチンと音がする）ように取り付ける

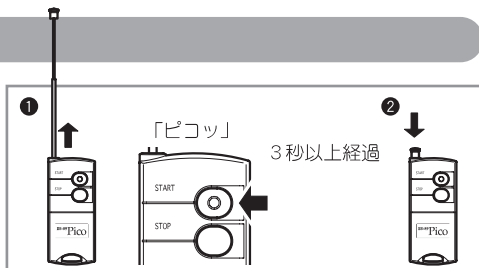


2 動かしてみよう

- 送信機の各ボタンは、0.5秒以上押し続けることによって、ブザーが鳴り送信します。ボタンを連続で操作する場合は、前の操作後約3秒以上経過してから次の操作を行ってください。
- 送信操作時に、裏側のブザー穴を指でふさいでしまうと、ブザー音が聞こえにくことがあります。
- 送信操作後の約3秒間は、電波が送信されているので、アンテナは伸ばしたままにしておいてください。また、アンテナは十分に伸ばして、垂直にして高い場所で操作した方が電波到達距離が長くなります。

エンジンを始動する

- ①送信機のアンテナを伸ばし、「START」ボタンをブザーが「ピコッ」と鳴るまで押します。
 - 車両（受信機）側は、エンジン始動動作を開始して、エンジンがかかります。
- ②ブザーが鳴り終わり、約3秒以上経過してから、アンテナを収納します。



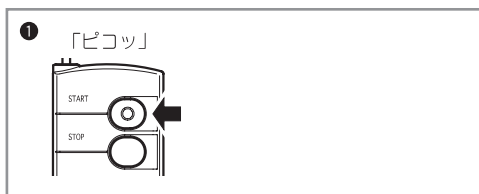
注意

- アンテナを伸ばすとき、または収納するときは、アンテナトップ（アンテナの先端）を持って、上下方向に、まっすぐに動かしてください。無理な力で引っ張ったり、左右に強く曲げると、アンテナが曲がったり、破損する場合があります。

エンジン始動の確認をする

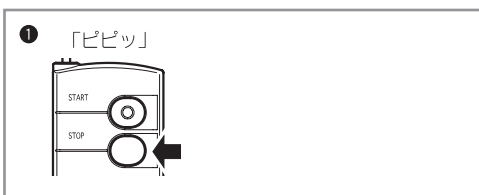
- 送信機の「START」操作で、エンジン始動の確認をすることができます。
- エンジン始動の確認は、送信機でエンジン始動操作後、約1分以上経過してから行ってください。

- ①アンテナを伸ばし、「START」ボタンを「ピコッ」と鳴るまで押します。
 - エンジンがかかっている場合は、車両のホーンが「ブツ」と1回鳴ります。



エンジンを止める

- ①アンテナを伸ばし、「STOP」ボタンを「ピピッ」と鳴るまで押します。
 - 車両（受信機）側は、エンジンが止まります。



知っておきたいこと

オートマチック車の認識設定

- 取り付け直後、および受信機の電源が切られた場合（バッテリーを外した等）は、「オートマチック車の認識設定」（13ページ）をしないと、エンジンスターターでエンジン始動はできません。

エンジン始動の4つの条件（安全機構）

- 次の4つの条件が満たされて、はじめてエンジンは始動します。
 1. 全てのドアが閉じている。
 2. ボンネットが閉じている。（ボンネットスイッチ〈別売のオプション部品〉が、取り付けられている車両）
 3. シフトレバーが「P」レンジに入っている。（車両によっては、フットブレーキが踏まれていない）
 4. パーキングブレーキがかかっている。（「パーキングブレーキを検出する」設定にした場合）

エンストリトライ（再始動）

- 1回目の始動動作でエンジンがかからなかったり、始動して30秒以内にエンジンが止まってしまった場合は、自動的に最大2回まで再始動を行います。

STOP操作以外のエンジンの停止

- アイドリングタイマーにより、20分（アイドリング時間を変更した場合は、10分またはは30分）経過すると、エンジンは自動的に停止します。
- 安全機構（エンジン始動の4つの条件を参照）が作動すると、エンジンは自動的に停止します。
 1. ドアを開ける。
 2. ボンネットを開ける。（ボンネットスイッチ〈別売のオプション部品〉が、取り付けられている車両）
 3. シフトレバーを「P」レンジ以外に入れる。（車両によっては、フットブレーキを踏む）
 4. パーキングブレーキを解除する。（「パーキングブレーキを検出する」設定にした場合）

純正のスマートキー、およびスマートエントリーシステムについて

- エンジンスターターによるアイドリング中は、ほとんどの車種は純正スマートキーおよびスマートエントリーシステムによるドアロック／アンロックは作動しなくなります。この場合は、スマートキー内蔵のメカニカルキーを使うか、エンジンスターターでエンジンを停止させてから、スマートキー（キーレスエントリー）でロック／アンロック操作を行ってください。
- また、エンジンスターターによるアイドリング停止後は、スマートエントリーシステムによるアンロック操作（ドアノブの内側を握る）は作動しなくなります。一度ドアロック操作（ドアノブ部のボタン、またはセンサー部を押す）を行ってから、再度アンロック操作を行ってください。

3 便利な機能

アイドリング時間の変更

- アイドリング（暖機）時間を変更することができます。
- 送信機の設定操作により、「10分」、「20分」、「30分」、のいずれかを選択できます。（15～16ページ）：出荷時は「20分」

オートライトキャンセル

- 車両のオートライト機能（ライトスイッチが「AUTO」のポジション）を使用して、エンジンスターターでアイドリング中にエンジンが停止した場合、自動的にヘッドライトを消灯させる機能です。（オートライト機能付き車）
 - オートライト配線を接続していないと、この機能は利用できません。配線が行われていない場合は、オートライトキャンセル機能は作動しないため、エンジンが停止しても夜間等ではヘッドライトが消灯せずに、バッテリー上がりを起こす恐れがあります。配線の接続は、取り付け店に依頼してください。
 - 夜間等、エンジンスターターによるアイドリング時に、無人状態でヘッドライト点灯を防ぐ意味でも、駐車時には車両のライトスイッチを「OFF」にしておくことをお勧めします。
- 取り付けの車種により、この機能が使用できない場合があります。販売店または取り付け店にご確認ください。

受信アンテナのモニターLED

- 受信アンテナのモニターLED（赤色）は、待ち受け（エンジンが停止している）状態には点滅して、周囲に威嚇効果を与えます。また、エンジンスターターによるアイドリング（暖機）中には点灯、受信周波数帯の電波を受信した際には一瞬点灯します。
- 待ち受け（エンジンが停止している）状態のとき、モニターLEDを点滅させず消灯にしたい場合は、送信機の設定操作により、モニターLEDを「点滅しない」にすることができます。（17ページ）：出荷時は「点滅する」

4 機能の設定

- 各機能は、送信機を使って設定を行います。
- 機能の設定は、それぞれの設定手順に従って、必要に応じて行ってください。
- 各機能の設定完了後は、機能が設定したとおり動作することを必ず確認してください。
- 設定手順の間違いなどで機能が正しく作動しなかった場合は、設定のリセット（33ページ）を行い、全ての設定を工場出荷時の状態（初期設定）に戻してから、もう一度各機能の設定を行ってください。
- 設定手順のブザーは、受信機から出るブザー音です。

1 オートマチック車の認識設定

- 取り付け直後、および受信機の電源が切られた場合（車両のバッテリーを外したとき等）は、この設定をしないと、エンジンスターターでエンジン始動はできません。

1 車両のプッシュスタートボタンを2回押して、イグニッションを「ON」にする

---受付時間10秒以内---

2 「STOP」ボタンを押す

→送信音：「ピピッ」

→ブザー：「ピーピーピー...」

---受付時間10秒以内---

3 シフトレバー：「P→R」または
フットブレーキを踏む（※）

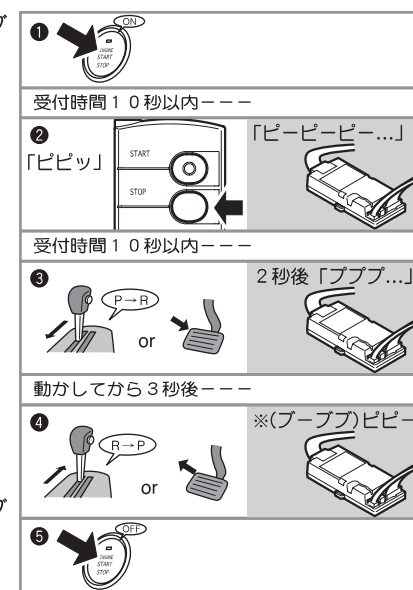
→ブザー：2秒後「ブブブ...」

---動かしてから3秒後---

4 シフトレバー：「R→P」または
フットブレーキを放す（※）

→ブザー：「ブブブ ピピー」

5 車両のプッシュスタートボタンを1回押して、イグニッションを「OFF」にする



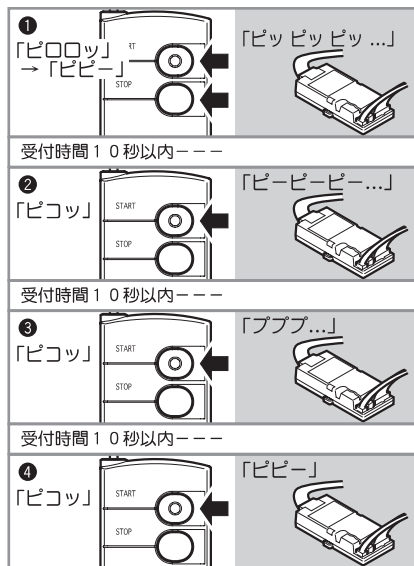
※取り付けの車種により、フットブレーキを使って設定を行う場合があります。

2 パーキングブレーキの検出設定（出荷時：検出しない）

- エンジン始動の条件（安全機構）で、パーキングブレーキを「検出する」、「検出しない」を設定できます。
- パーキングブレーキ配線を接続していないと、この機能は利用できません。配線の接続は、取り付け店に依頼してください。

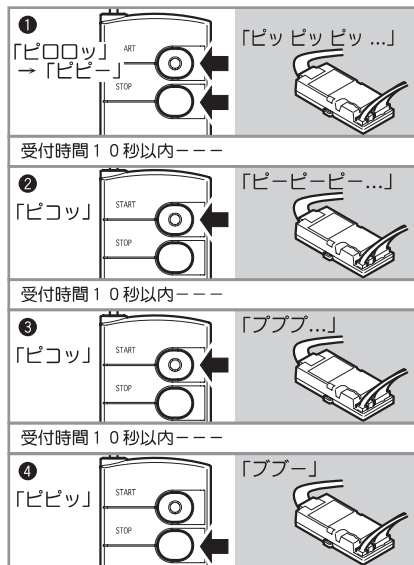
「検出する」の手順

- 1 「START」「STOP」ボタンを同時に5秒以上押す
→送信音：「ピロコッ」の約5秒後「ビビー」
→ブザー：「ピッ ピッ ピッ...」
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「プププ...」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ビビー」



「検出しない」の手順

- 1 「START」「STOP」ボタンを同時に5秒以上押す
→送信音：「ピロコッ」の約5秒後「ビビー」
→ブザー：「ピッ ピッ ピッ...」
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「プププ...」
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビビッ」
→ブザー：「ププー」

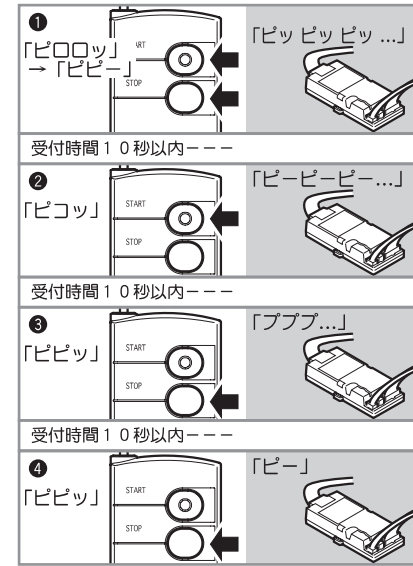


3 アイドリング時間の設定（出荷時：20分）

- エンジンスターターのアイドリングタイマー（暖機）時間を「10分」、「20分」、「30分」のいずれかに設定できます。

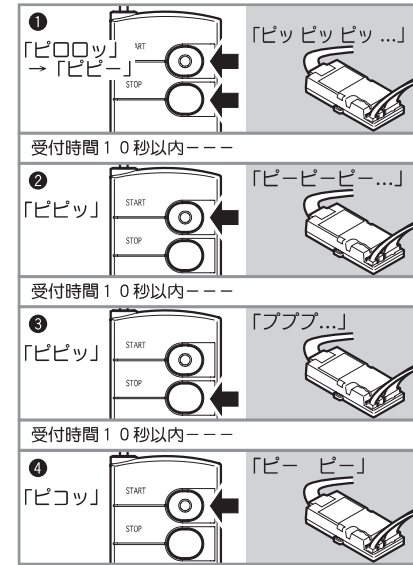
「10分」の手順

- 1 「START」「STOP」ボタンを同時に5秒以上押す
→送信音：「ピロコッ」の約5秒後「ビビー」
→ブザー：「ピッ ピッ ピッ...」
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピビッ」
→ブザー：「プププ...」
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピビッ」
→ブザー：「ビー」



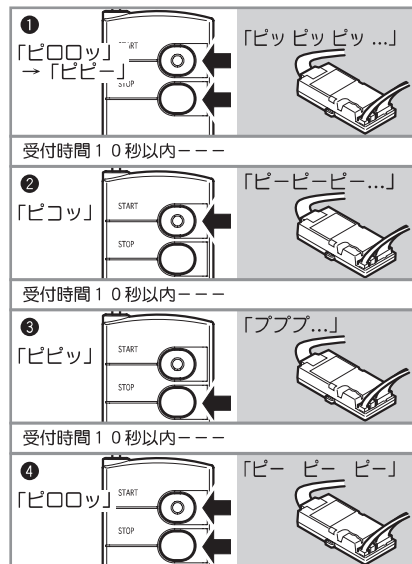
「20分」の手順

- 1 「START」「STOP」ボタンを同時に5秒以上押す
→送信音：「ピロコッ」の約5秒後「ビビー」
→ブザー：「ピッ ピッ ピッ...」
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピビッ」
→ブザー：「プププ...」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピー ピー」



「30分」の手順

- 1 「START」「STOP」ボタンを同時に5秒以上押す
→送信音：「ピロロツ」の約5秒後「ビピー」
→ブザー：「ピッ ピッ ピッ...」
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブブ...」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピロロツ」
→ブザー：「ピー ピー ピー」

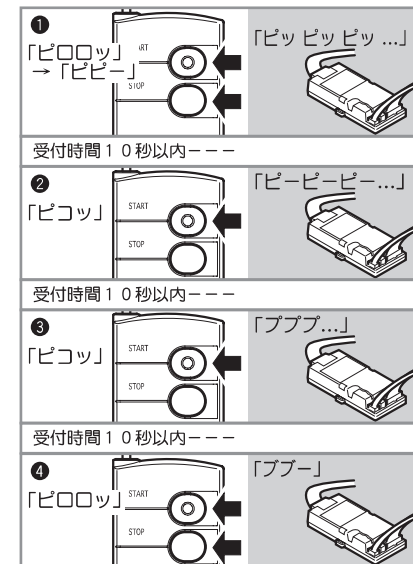


4 受信アンテナモニターLEDの設定（出荷時：点滅する）

- 待ち受け（エンジンが停止している）状態のとき、受信アンテナのモニターLEDを「点滅しない」に設定することができます。

「点滅しない」の手順

- 1 「START」「STOP」ボタンを同時に5秒以上押す
→送信音：「ピロロツ」の約5秒後「ビピー」
→ブザー：「ピッ ピッ ピッ...」
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ピーピーピー...」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピコッ」
→ブザー：「ブブブ...」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピロロツ」
→ブザー：「ブブー」（点滅しない設定完了音）



「点滅する」の手順

- 「点滅しない」に設定した後、「点滅する」に戻したい場合は、上記と同じ設定手順を行うことで、「点滅する」に戻すことができます。
- 「点滅する」に設定されたときには、上記手順4番のブザー音は「ビピー」（点滅する設定完了音）になります。

5 こんなときは (Q & A)

送信機の操作関係

Q

送信機の操作距離が短くなった。

A

- ① 送信機のアンテナを十分伸ばして操作していますか。
 - 操作して約3秒間（電波を送信中）は、アンテナを伸ばしておいてください。
- ② 電池が消耗していませんか？（9 ページ参照）
 - 新しい電池（CR2032 × 1個）と交換してください。
- ③ 受信アンテナケーブルは、確実に接続されていますか？
 - 受信機の CN3 に、アンテナケーブルのコネクタを確実に接続してください。（取り付け店にご相談ください）

Q

操作をしても、送信機が作動しない。

A

- ① 電池が消耗していませんか？
 - 新しい電池（CR2032 × 1個）と交換してください。（9 ページ参照）

エンジン始動関係

Q

送信機の「START」操作をしても、エンジンがかからない。

A

- ① 車両のバッテリー端子を外したことがありますか？
 - 「START」操作後、受信機のブザーが「ブーブブ」と鳴ったら、「オートマッチ車の認識設定」を行ってください。（13 ページ参照）
- ② エンジン始動の4つの条件（安全機構）は満たされていますか？
 - 始動条件（安全機構）が満たされているか、確認してください。（11 ページ参照）
 - ボンネットスイッチ（別売のオプション部品）が取り付けされている車両のボンネットを開けた場合は、ボンネットを閉めてから、プッシュスタートボタンで3秒以上車両のIG電源を「ON」する、または送信機で「STOP」操作をする、のいずれかを行ってください。（ボンネット検出のリセット）

- ③ 車両のイグニッション（IG）が「ON」になっていませんか？
 - 車両のイグニッション（IG）を「OFF」にしてください。
- ④ エンジンの始動性が悪くなっていませんか？
 - 車両のプッシュスタートボタンで始動してもエンジンのかかりが悪い場合には、車両の整備をした上で取り付け店にご相談ください。
- ⑤ 車両のバッテリーが弱っていませんか？
 - バッテリーが弱っていたら、充電、または交換をしてください。
- ⑥ 「送信機の操作距離が短くなった」（18 ページ）の項目を確認してください。

Q

エンジン始動の確認ができない。

A

- ① エンジン始動操作後、すぐに確認操作をしていませんか？
 - エンジン始動操作後、約1分以上経過してから確認操作をしてください。
- ② エンジンは始動していますか？
 - エンジンがかかっているかを確認してみてください。（車両）
- ③ 「送信機の操作距離が短くなった」（18 ページ）の項目を確認してください。

Q

送信機の「STOP」操作をしても、エンジンが止まらない。

A

- ① 車両のプッシュスタートボタンでエンジンを始動していませんか？
 - プッシュスタートボタンを押して、エンジンを止めてください。
- ② 「送信機の操作距離が短くなった」（18 ページ）の項目を確認してください。

Q

エンジンは始動するが、すぐに停止したり、再始動を2回繰り返す。

A

- ① 車両のバッテリーが弱っていませんか？
 - バッテリーが弱っていたら、充電、または交換をしてください。
- ② エンジン始動検出ができていませんか？
 - 車両側への配線（L端子線の接続）が必要です。取り付け店に依頼してください。
- ③ ハイブリッドの車両ではありませんか？
 - ハイブリッド車は、エンジンが始動しても、バッテリーの充電が完了すると、自動的にエンジンを停止したり、バッテリーの容量が低下してくると、エンジンを始動するので、異常ではありません。

各機能関係

Q

各機能が使用できない。

A

- ① 機能の設定はされていますか？
 - 使用する機能の設定を行ってください。(13～17 ページを参照)
- ② 必要な配線はされていますか？
 - 使用する機能により、車両側への配線が必要です。取り付け店に依頼してください。

その他 (全般)

Q

車両のバッテリーを外した。

A

- 「オートマチック車の認識設定」を行ってください。(13 ページを参照)

Q

送信機を紛失 (破損) してしまった。送信機を新しくしたい。

A

- スペア送信機を有償で注文できます。保証書、または受信機のシリアルナンバーを確認して、取り付け店または販売店に注文してください。
- ただし、スペア送信機を使用する場合には、今までの古い送信機は使えなくなります。(1台の車両に対して、使用できるのは1台の送信機のみです)

2 エンジンスターターの取り付け方

1. 梱包内容

梱包内容.....	23
梱包内容の他に必要なもの.....	23

2. 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具.....	24
エレクトロタップでの分岐接続方法.....	24
接続の概念図 (システム図).....	25
接続先の信号一覧.....	24

3. 取り付け作業

取り付けの前に.....	26
①受信アンテナの取り付け.....	26
②専用ハーネスの取り付け.....	27
③CN2 配線の接続.....	28
④受信機の接続.....	29
⑤オートマチック車の認識設定.....	30
⑥スマートキーの認識設定.....	30
⑦動作チェック.....	31
⑧受信機の取り付け.....	32
⑨取り付け後の配線処理.....	32
⑩機能の設定.....	32
⑪設定のリセット.....	33
⑫受信機のブザーアンサーバック表.....	34

4. 主な仕様

.....	35
-------	----

5. スペア送信機について

.....	36
-------	----

6. アフターサービス

.....	36
-------	----

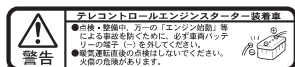
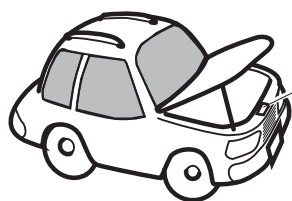
取り付け上のご注意

本製品を安全に、最良の状態でご使用いただくために、取り付け前に必ずお読みください。



警告

- 本製品は後付けの性格上、車両内の重要な配線部分に接続するようになっていきます。誤配線、配線省略、設定間違い、受信機の固定不徹底、配線の後処理の不徹底等は重大な事故を起こす原因となりますので、取り付け説明に従って注意を良く守り、一つ一つ接続先を確認しながら作業を進めてください。
- 作業終了後は実際に操作して動作確認をしてください。
車両が安全な場所にあること、周囲に人がいないことを確かめ（特に車両の前後、ボンネット内で作業をしていると危険です）、実際に送信機を操作して動作チェックをしてください。また、正常に動作しないままでのご使用や、お客様への引き渡しはしないでください。
- 取り付け終了後は「本説明書」および販売店名、販売日を記入した「保証書」をお客様にお渡しください。
- 付属の「警告ラベル」を、エンジンルーム内の良く見え、高温にならない場所に、油やほこりを良く拭き取ってから貼ってください。本製品を取り付ける際に「警告ラベル」が無い場合は、販売店または取扱店より入手して貼るようにしてください。



「警告ラベル」

- 「警告ラベル」がない状態で点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。

取り付けにあたって知っておきたい注意事項



警告

- 取り付けは、概念的な説明で確実に取り付けのできる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けの場合は、PL保険の対象になりません。
- 本製品に関する一般的な注意事項は、「使用上のご注意」(2~6ページ)に記載されています。取り付け前に必ずお読みください。

1 梱包内容

梱包内容

品名	数量	品名	数量
送信機	1	エレクトロタップ (赤色)	1
受信機	1	エレクトロタップ (桃色)	8
受信アンテナ	1	両面テープ (受信機用)	1
専用ハーネス	1	警告ラベル	1
CN2ハーネス (8極)	1	キーホルダーリング	1
バンド (受信機用)	1	取扱・取付説明書 (本書)	1
結線バンド (150mm)	8	保証書	1

梱包内容の他に必要なもの

- 以下の部品、および車種別取付資料は、販売店にお問い合わせいただくか、インターネットのホームページ (36ページ参照) で確認していただき、必要なものを準備してください。

1. 車種別取付資料 (必ず用意する)

- 取り付ける車種ごとに、専用に作成された取り付け資料です。

2. 主なオプション部品 (必要に応じて用意する)

ボンネットスイッチ、またはボンネットセンサー

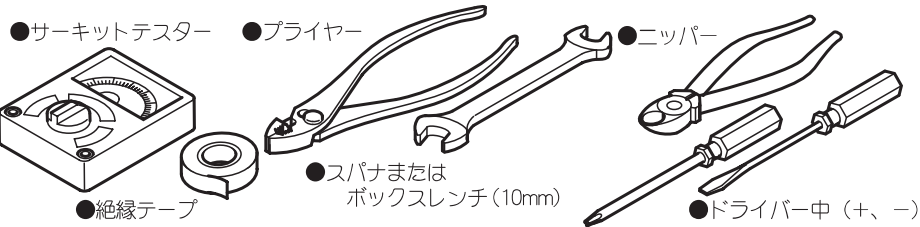
- エンジン始動条件の安全機構で、「ボンネット開」を検出する場合に必要です。
- 車両の点検整備時の安全を確保するために、取り付けをお勧めしています。

ドア検出ユニット

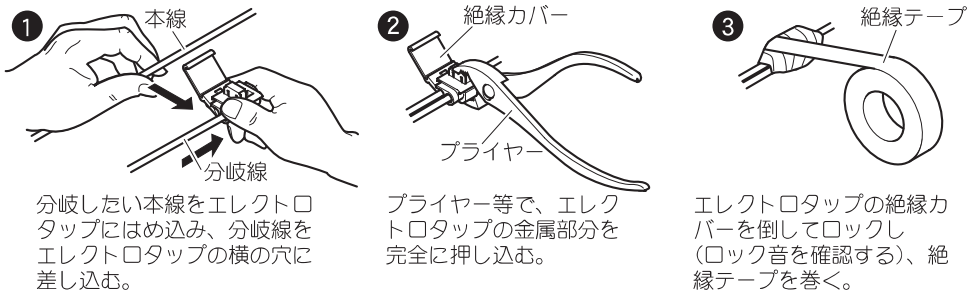
- ドアの開閉信号が各ドアごとに分かれている車種で、全てのドアの開閉信号を検出する場合に必要です。

2 取り付け前の準備

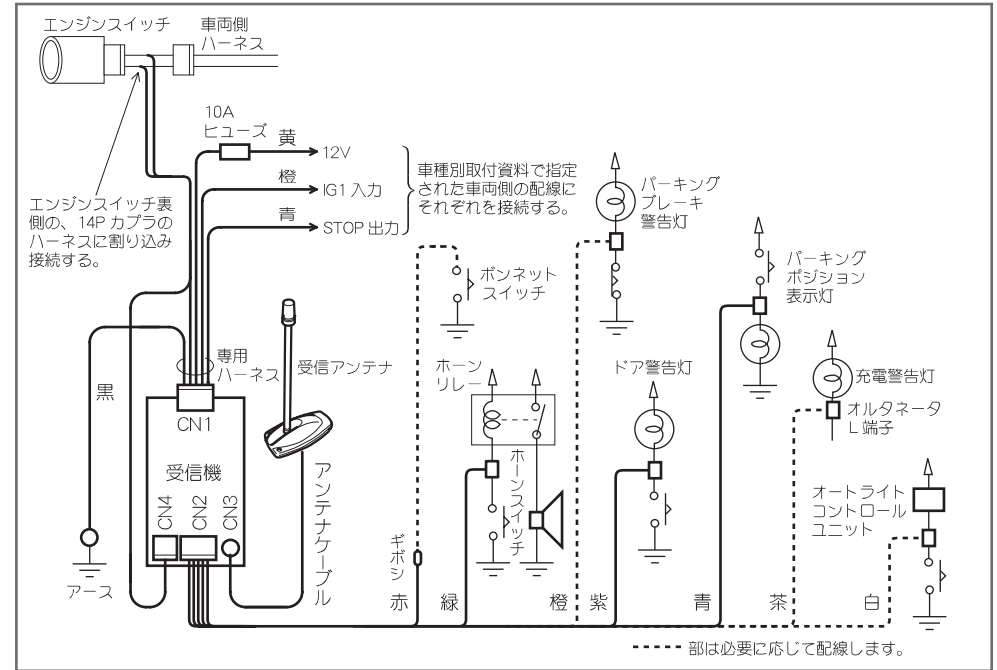
揃えておきたい主な工具



エレクトロタップでの分岐接続方法



接続の概念図 (システム図)



接続先の信号一覧 (CN2 ハーネス)

●サーキットテスターで信号の電圧を確認してください。

カブラ NO.	線色	接続先	条件	接続先の信号	備考	
CN2	茶	L端子	車両のキースイッチが「ON」	エンジンがかかっていない → 約 1V	エンジンがかかっている → 12V	ディーゼル車、ガソリン車の始動不具合車 → 配線する
	赤	ボンネットスイッチ	CN2を受信機から外した状態	ボンネット開 → アースと導通	ボンネット閉 → アースと非導通	ボンネットスイッチ有り → ケーブルのギボシに接続 ボンネットスイッチ無し → 絶縁スリーブをかぶせる
	橙	パーキングブレーキ	車両のキースイッチが「ON」	パーキングブレーキを解除 → 12V	パーキングブレーキをかける → 0V	
	緑	ホン		何もしないとき → 12V	ホンを鳴らしたとき → 0V	ホンリレーのホンスイッチ側に接続する
	青	パーキングポジション	車両のキースイッチが「ON」	シフトレバーが「P」以外の位置 → 0V シフトレバーが「P」以外の位置 → 12V	シフトレバーが「P」の位置 → 12V シフトレバーが「P」の位置 → 0V	必ず配線する 車種により信号の電圧が異なります。
	紫	ドア		ドア開 → 0V	ドア閉 → 12V	
	白	オートライト		運転席ドア 開 → 0V	運転席ドア 閉 → 12V	

3 取り付け作業

- 車両のバッテリー端子の(-)を外してから、作業を行ってください。
- 取り付ける車両ごとに異なる、配線の接続先・取り付け上の注意事項等は、必ず「車種別取付資料」を参照してください。本説明書では、一般的な説明と補足説明にとどめます。

取り付けの前に

あらかじめ受信機の取り付け場所を決めてください。



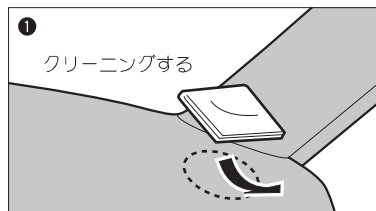
警告

- 受信機は車室内に設置し、取り付け場所は、高温とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所にしてください。
- 専用ハーネス、CN2、CN4、アンテナケーブルは受信機の取り付け場所を中心に取り回して接続してください。

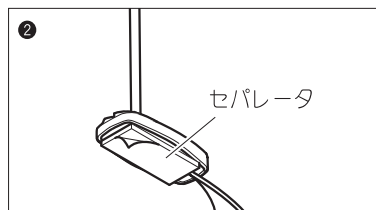
1 受信アンテナの取り付け

- 受信アンテナは、ダッシュボードサイド（左右）の、両面テープで確実に固定できる平らな面に取り付けてください。
- アンテナラジアルリードは、アンテナケーブルから離して、金属の無い空間に設置してください。切断したり車体の金属部分に接近すると電波の伝達距離が低下します。

1 受信アンテナを取り付ける場所を決め、取り付ける部分の汚れや油をきれいに拭き取る



2 両面テープのセパレータを取る



3 ダッシュボードサイドに貼り付ける ※1

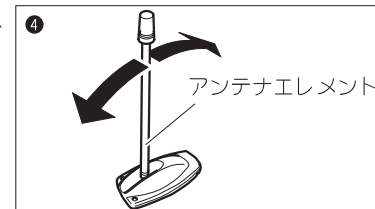
4 アンテナエレメントの角度を調整する ※2



5 アンテナケーブルを、受信機取り付け場所に導く

※1 両面テープを貼り付ける際には、周囲の温度が20℃以上の環境で作業をしてください。低温環境では、両面テープの接着が弱くなり、剥がれ落ちる場合があります。

※2 アンテナエレメントは、できるだけ垂直に調整した方が電波到達距離は長くなります。



警告

- 受信アンテナを取り付けるときに、取り付ける場所の油やほこりを良く拭き取って、容易に剥がれないように貼ってください。剥がれ落ちると運転に支障をきたすおそれがあります。
- 受信アンテナは視界の妨げにならない位置に固定してください。

2 専用ハーネスの取り付け

- それぞれのカプラ、および配線の接続先は、必ず取り付ける車両の車種別取付資料を参照して、指定されたところに接続をしてください。

1 エンジンスイッチ割り込みカプラの接続

専用ハーネスの14P白色カプラ（オス・メス）を、車両側のエンジンスイッチ（裏側）のカプラに割り込み接続する。

- エンジンスイッチは、車両により運転席側正面の右側、または左側にあります。

2 アースの接続

専用ハーネスの黒色線（ラグ端子付き）を、車体に直接締められている（塗装されていない車体アース）ボルト、ネジに共締めして固定する。

- アース線の推奨固定場所は、車両により車種別取付資料に記載してあるので、参照してください。

3 IG1 入力線（橙色）の接続

専用ハーネスの橙色線（ビニールチューブ付き、先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（IG1 入力）に、付属のエレクトロタップ（桃色）を使用して接続する。

4 STOP 出力線（青色）の接続

専用ハーネスの青色線（先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（STOP 出力）に、付属のエレクトロタップ（桃色）を使用して接続する。

5 12V 線（黄色）の接続

専用ハーネスの黄色線（10A ヒューズ付き、先端切りっ放し）を、車種別取付資料で指定された車両側の配線（12V）に、付属のエレクトロタップ（赤色、または桃色）を使用して接続する。

- 車両により、12V 線（黄色）接続先の車両側配線の線径（太さ）が異なるため、使用するエレクトロタップは、車両側配線の線径によりいずれかを使用して接続してください。
- ・線径（太さ）が 0.5mm 以下の場合...桃色のエレクトロタップを使う。
- ・線径が 0.5mm を超える（太い）場合...赤色のエレクトロタップを使う。

3 CN2 配線の接続

1 ドア（紫色）の配線

必ず配線する。

- 配線しないと、ドアの開閉検出ができません。安全のために必ず配線してください。
- 配線しない場合でもエンジンは始動できます。



注意

- ドアの開閉信号が各ドアごとに分かれている車種で、全ドアの開閉検知をしたい場合は、ドア検出ユニット（別売）を使用して、全てのドア開検知ができるように配線をしてください。

2 ホーン（緑色）の配線

配線する。

- 配線しないと、エンジン始動の確認をしたときにホーンが鳴りません。
- 必ず、車両両ホーンリレーのホーンスイッチ側(制御コイル側)の配線に接続してください。
- 配線しない場合でもエンジン始動はできます。

3 パーキングブレーキ（橙色）の配線

必要に応じて配線する。

- パーキングブレーキの検出を行う場合は、配線してください。
- 配線しない場合でもエンジン始動はできます。

4 L 端子（茶色）の配線

必要に応じて配線する。

- 始動不具合車（下記の状態になる場合）は配線してください。

- ①セルモーターを駆動しエンジンは始動するが、しばらくすると停止してしまう。
- ②不具合現象①を2回繰り返した後、リセットする。
- ③セルモーターを駆動し、エンジンが始動しないのに再始動を行わない。（エンジンがかかっていないのに、車両の電源が ON したままの状態になる）

5 パーキングポジション（青色）の配線

必ず配線する。

- 配線しないと「オートマチック車の認識設定」（13 ページ）ができません。

6 オートライト（白色）の配線

オートライト機能付き車は車種により必要に応じて配線する。

- オートライトキャンセル機能を使用する場合は、配線してください。
- 配線が必要な車種は、車種別取付資料に配線先が記載されています。
- 取り付けの車種により、オートライトキャンセル機能が使用できない場合があります（車種別取付資料を参照）。この場合には、オートライトの配線をしないでください。
- 配線をしない場合でも、エンジン始動はできます。

7 ボンネット（赤色）の配線

オプション部品のボンネットスイッチ、またはボンネットセンサーを取り付ける時は配線する。

- 取り付け、配線方法は、ボンネットスイッチに付属の取付説明書を参照してください。
- ボンネットスイッチを取り付けない場合は配線をせず、ケーブルに付属しているスリーブをギボシにかぶせて絶縁処理をしてください。

4 受信機の接続

① CN1 の接続

専用ハーネスの赤色 10P コネクタを、受信機の CN1 に接続する。

- CN1 を接続すると、受信機の電源が入って、「ピロロロツ」とブザー音が出ます。

② CN4 の接続

専用ハーネスの白色 14 コネクタを、受信機の CN4 に接続する。

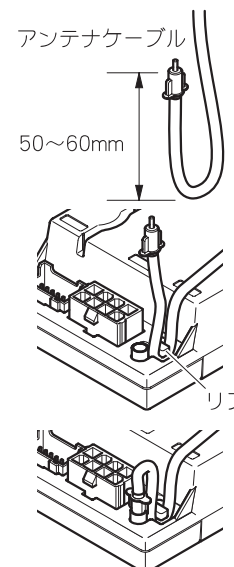
③ CN2 の接続

CN2 ハーネスの白色 8P コネクタを、受信機の CN2 に接続する。

④ アンテナコネクタの接続

受信アンテナケーブルを以下の手順で抜け防止処理してから、アンテナコネクタを受信機の CN3 に接続する。

1. アンテナコネクタの先端より 50~60mm の部分で、アンテナケーブルを整形して小さな U 字形を作る。
2. U 字形の部分を抜け防止用リブの奥まで押し込む。
3. アンテナケーブルを折り返して、アンテナコネクタを CN3 に接続する。



注意

- 抜け防止処理後は、アンテナケーブルを強く引っ張りすぎないように注意してください。ケーブルを強く引っ張りすぎると、抜け防止用リブが破損する場合があります。

5 オートマチック車の認識設定

- 受信機の接続が終わり、「スマートキーの認識設定」を行う前にこの設定を行います。
- この設定をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

操 作	送信音	受信機のプロザー音	備 考
車両のIG電源→「ON」			受付時間 10秒以内
「STOP」	ピピ	ピーピーピー...	受付時間 10秒以内
シフトレバー「P」→「R」 または、フットブレーキを踏む(※)		2秒後ブブブ...と音が変化	動かしてから3秒後
シフトレバー「R」→「P」 または、フットブレーキを放す(※)		ブーブブ ピピー	

※ 取り付ける車種により、フットブレーキを使って設定を行う場合があります。

- 車両のバッテリーを外したとき、または受信機のCN1コネクタを外したときは、この設定が必要です。

6 スマートキーの認識設定

- 取り付ける車両のスマートキー（1個）を準備してください。
- 「動作チェック」を行う前にこの設定をおこないます。
- この設定をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。設定をせずに「START」操作をすると、受信機からはイモビエラー音（ブーブブ）が出ます。

1 「START」「STOP」ボタンを同時に5秒以上押す

- 送信音：「ピロロツ」の約5秒後「ビピー」
- ブザー：「ピッ ピッ ピッ...」

---受付時間 10秒以内---

2 「STOP」ボタンを押す

- 送信音：「ビピッ」
- ブザー：「ピーピーピー...」

---受付時間 10秒以内---

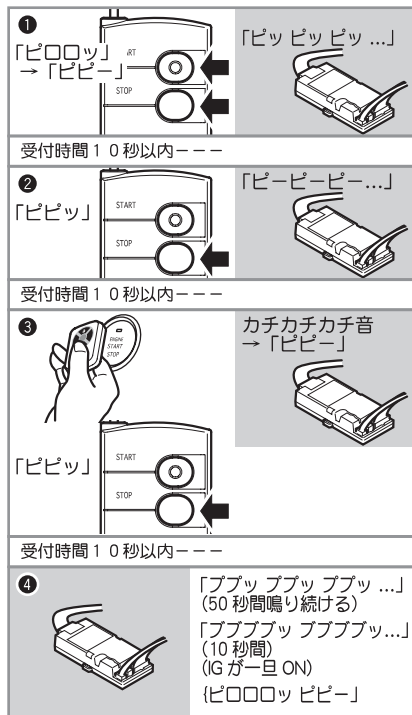
3 スマートキーを車両のエンジンスイッチに当てたまま、送信機の「STOP」ボタンを押す

- 送信音：「ビピッ」
- 受信機：「カチカチカチ音」がする
- ブザー：「ビピー」(※1)

ここで、スマートキーをエンジンスイッチから離す

4 スマートキーを車両室外の十分離れた場所に移して待機する

- ブザー：「ブブッ ブブッ ブブッ...」
(約50秒間、小さな音で鳴り続ける)
- ブザー：「ブブブブッ ブブブブッ...」
(約10秒間、音が変化する)
- 車両側：IG電源が一旦ONして切れる
- ブザー：「ピロロツ ピピー」(※2)



※1...手順3でブザーが「ブー」と鳴った場合は、スマートキーの認識ができていません。手順3ではブザー音「ビピー」が鳴るまでは、スマートキーをエンジンスイッチに当てたままにしてください。この場合はもう一度、手順1から設定作業をしてください。

※2...手順4でブザーが「ブー」となった場合は、スマートキーの認識設定が失敗しました。手順4では、必ずスマートキーを車両室外の十分離れた場所に移してください。車室内にスマートキーが残っていると、スマートキーの認識設定ができません。この場合はもう一度、手順1から設定作業をしてください。

7 動作チェック

- 「オートマチック車の認識設定」(30ページ)、および「スマートキーの認識設定」(30ページ)をしてから、動作チェックを行ってください。
- 操作に関する詳細と注意事項は、「動かしてみよう」(10~11ページ)を参照してください。

1. エンジンの始動

操 作	送信音	エンジン
「START」	ピコッ	始動する

2. エンジンの始動の確認（始動してから30秒後）

操 作	送信音	ホーン
「START」	ピコッ	1回鳴る

3. エンジンの停止

操 作	送信音	エンジン
「STOP」	ピピッ	停止する

4. ドア開検出の確認

- 1 送信機で「エンジンの始動」を行いエンジンをかける
- 2 エンジンがかかってから、30秒後にドアを開け、即時にエンジンが止まること

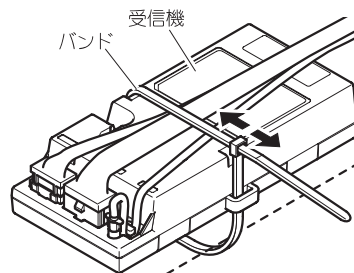
--- 正常に作動しないときは ---

- 送信機を操作すると、受信機がブザーによりアンサーバックをします。その音によって正常、異常が判断できますので、受信機のプロザーアンサーバック表(34ページ)を参照して、異常箇所を一つ一つ直しながらチェックしてください。
- 異常箇所が重複している場合は、最初の異常箇所をアンサーバックします。それが解決すると次の異常箇所のアンサーバックをします。

8 受信機の取り付け

- ① 動作チェックをして、確実に動作することを確認してから取り付ける
- ② 受信機の取り付けは、付属のバンド、両面テープ等でゆるみ、がたつきのないように、車両のハーネス等にしっかりと固定する

●受信機は車室内（高温とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所）で、なるべくコネクタは下向きになるように取り付けてください（電線を伝わって水が浸入すると、ほこり等による接触不良を防止するため）。



9 取り付け後の配線処理

●配線コードは車両の可動部（チルトステアリング、アクセル、ブレーキ、パーキングブレーキ、アクセルリンク等）またはシャープエッジに触れたり、挟み込まれたり、垂れ下がらないように付属の結線バンド等で結束してください。また、絶縁処理の必要な配線は絶縁テープなどで処理をしてください。



警告

- 受信機の取り付けが不完全な場合、落下などで運転に支障をきたし、重大な事故につながるおそれがあります。
- 受信機は足下の水の跳ね返りや、外部からの水の浸入にふれないように設置してください。内部に水が浸入すると、動作不良などによって重大な事故につながるおそれがあります。（受信機は防水対応ではありません。）
- 配線コードが挟み込まれたりすると、場合によっては断線、ショートが起こり、受信機または車両のシステムを破損したり、アクセル、ブレーキが正常に操作できなくなったり、車両火災を起こす危険があります。

10 機能の設定

- 各機能は、送信機を使って設定を行います。
- 機能の設定はお客様に引き渡す前に、あらかじめお客様に確認の上で必要に応じて行ってください。
- 各機能の詳細、および設定手順は、「便利な機能」、および「機能の設定」（12～17 ページ）を参照してください。
- 設定により変更できる機能と、工場出荷時の各機能の設定は、以下の一覧表を参照してください。

機能	出荷時設定
パーキングブレーキの検出設定	検出しない
アイドリング時間の設定	20分
受信アンテナ LED の設定	点滅する

11 設定のリセット

●各機能の設定をリセットして、全て工場出荷時の設定（32 ページ）に戻したい場合は、以下の手順で設定のリセットをしてください。

■「設定のリセット」手順

操 作	送信音	受信機のアンサーバック	備 考
「START」 & 「STOP」 5 秒間押す	ピロロツ ↓ ピピー	ピツ ピツ ピツ...	受付時間 10 秒以内
「START」	ピコツ	ピーピーピー...	受付時間 10 秒以内
「START」 & 「STOP」	ピロロツ	プププ...	受付時間 10 秒以内
「START」 & 「STOP」	ピロロツ	ピロロツ ピピー	リセット完了

12 受信機のブザーアンサーバック表

番号	アンサーバック音	アンサーバック音が鳴る場合	
1	ピロロロ↑	受信機に電源が入ったとき	
2	ピッ ピッ ピッ ...	設定モード中 1	
3	ビービービー...	設定モード中 2	
4	ブブ...	設定モード中 3	
5	ピピー	オートマッチック車認識設定完了時 各機能の設定完了時 ボンネットのリセット操作完了時 スベア送信機 D書き込み完了時	
6	ブブー	各機能の設定完了時	
7	ピー	アイドリング時間「10分」設定完了時	
8	ピー ピー	アイドリング時間「20分」設定完了時	
9	ピー ピー ピー	アイドリング時間「30分」設定完了時	
10	ピ	スタート・ストップ受け付け時	
11	ブーブブ (ピーボシ)	オートマッチック車認識設定が行われていないとき シフトレバーがPポジション以外に入っている時	○
12	ブブ (ドア)	ドアが開いたとき	○
13	ブブブ (サイド)	パーキングブレーキが解除されたとき	○
14	ブブブブ (ボンネット)	ボンネットが開いた時	○
15	ブブブー (アイジー)	エンジン始動時にIG電圧が低い時 (10V以下) オート検出にて始動後のバッテリー電圧降下時	○
16	ブブブーブ (エルタンシ)	エンジン始動時にL端子電圧が既に上がっている時 L端子検出にて始動後のL端子電圧降下時	○
17	ピピピー↑	オート検出での始動成功時	
18	ピピピーピ↑	L端子検出での始動成功時	
19	ピロピロ↓	アイドリングタイマー終了時	
20	ピロロロッピピー↑	設定のリセット完了時	
21	ブーブブ	イモビエラー時	○

○印は、エンジンが始動しないとき、またはエンジンが停止したとき（アイドリング終了時）に発音します。

4 主な仕様

■送信機

送信周波数	426.0500MHz (特定小電力無線機器)
送信出力	1mW 以下
アンテナ	2 段ロッド&ベースローディング併用タイプ
スイッチ	START / STOP
送信確認	ブザー
電池消耗確認	ブザー
使用電池	CR2032 × 1 個
生活防水	JIS 保護等級 4 防まつ型
動作温度範囲	- 20℃ ~ + 70℃
寸法	66mm × 29mm × 12mm (突起部含まず)
重量	21g (電池含む)

■受信機

受信周波数	426.0500MHz
電源電圧	DC9 ~ 16V (12V 車専用)
消費電流	3mA 以下 (待受時平均)
ホーン出力電流 (最大値)	0.5A 以下 (CN2 ハーネスのホーン配線)
動作/機能設定確認	ブザー
動作温度範囲	- 30℃ ~ + 70℃
寸法	125mm × 57mm × 25mm (突起部含まず)
重量	100g

■受信アンテナ

アンテナ形式	ダッシュボードオンタイプ・モニター LED 付き (RF アンブ内蔵)
寸法	70mm × 34mm × 20mm (エレメント長 165mm)
アンテナケーブル長さ	2000mm

※仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。